

インド繊維省 ニーラム・シャミ・ラオ事務次官ら訪問団がニッセンケンを視察 － 日本への輸出拡大に向け品質課題等について意見交換 －

インド繊維省は6月16日、来日中の事務次官ニーラム・シャミ・ラオ氏をトップとする訪問団を組織し、一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（以下、ニッセンケン）の台東区蔵前にある試験施設等を視察しました。これは経済産業省の協力のもと、2021年1月にニッセンケンとインド繊維省テキスタイルコミッティ（以下、TC）が締結した「インドと日本の品質基準の伝承・貿易拡大のための情報共有等に関する覚書（以下、MOU）」に基づくもので、ニーラム・シャミ・ラオ氏からはインド現地の大規模繊維工業団地【PM MITRA パーク】での試験ラボ共同参画について提案されました。

ニッセンケン・広報担当より、当日の様様をお知らせします。



インド繊維省 ニーラム・シャミ・ラオ事務次官は「ニッセンケンの技術力や品質管理体制、グローバルな事業展開に対して高く評価している」と述べられました

インド生産の日本向け繊維・ファッション製品の品質確保に共同で取り組む

2019年、モディ首相が提唱する「Make in India」政策の一環として、「日印産業競争力パートナーシップ」が両国政府間で立ち上げられました。

そして繊維・ファッション分野においては2021年に締結したMOUにより、ニッセンケンとTCが共同してインドに進出する日本企業への情報提供や、インド企業への品質安定化のためのサポートなど各種活動に現在も継続して取り組んでいます。とりわけ、インド生産の繊維・ファッション製品を日本に輸出することが最重点課題として位置づけられ、日本の試験機関としては唯一、現地に自社の試験ラボを持つニッセンケンに対して厚い信頼が寄せられてきました。

インド繊維省から大規模繊維工業団地での試験ラボ共同参画を提案

当日は試験設備の視察に先立ち、事務次官ニーラム・シャミ・ラオ氏を中心とする約 20 名の視察団(インド繊維省、インド大使館、TC 関係者)とニッセンケン役員が現状と今後の課題等について 1 時間半にわたりミーティングを行いました。

ニッセンケンから事業概要、技術開発への取り組み、インドでの JIS 試験の活動について説明するとともに、今後の試験事業の協力や品質安定に関して意見を交換。訪問団からは「ニッセンケンの技術力や品質管理体制、グローバルな事業展開に対して高く評価している」と述べられました。

またインド現地での JIS 試験事業拡大を目指し、両国間の連携強化の可能性について活発な議論が交わされ、その中でインド繊維省からは、試験事業を通じたインド製品の品質向上策のさらなる発展に向け、大規模繊維工業団地【PM MITRA パーク】での試験ラボ共同参画に関する提案がされ、ニッセンケン・安藤健理事長から「実現に向け、具体的な検討に入りたい」と答えました。

ニッセンケンと TC のさらなる関係強化へ

当財団としては、今回の訪問を大変光栄に受け止めており、今後もインド政府との協力関係を深めながら、インド製品の品質安定・向上に貢献する所存です。また、両国間の友好関係および経済交流の促進を目的として実施された今回の視察実現に尽力された関係者の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

今後とも、ニッセンケンと TC の連携にぜひご注目ください！



ミーティングと視察は、重要課題に関する意見交換を真剣に行いつつ、終始和やかな雰囲気が進みました。最後にニッセンケンビルの屋上で、日本一高い建造物・スカイツリーをバックに記念撮影！

◆ 本リリースに関するお問い合わせ先 ◆

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター アセアン・南西アジア事業本部

> [ニッセンケン事業拠点](#) > [お問い合わせフォーム](#)